

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	5RF-2202
研究課題名	国内河川における陽イオン界面活性剤の濃度予測手法の構築
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	金沢大学
研究代表者名	花本征也

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

国内河川における陽イオン界面活性剤の環境動態、濃度実態、負荷量を通年的かつ網羅的に調べ、下水処理過程における物質収支に関して多くの知見が得られている。他機関との連携で大規模な調査を実施していること、発生源対象を下水だけでなく畜産地域における水圏にも広げていること、さらに光分解や底質等への吸着などの因子の評価も行うなど目標を上回る成果を上げている。論文や口頭発表も多く、成果の発信についても精力的に行っていることも評価できる。本研究成果は、陽イオン界面活性剤が環境リスク初期評価や生態リスク評価の対象物質となりうることを示しており、環境行政へ貢献するものと期待される。今後は、分析カラムの改良も含めた長鎖陽イオン界面活性剤の測定方法の確立をはじめ、共通排出源により予測が困難な流域における陽イオン界面活性剤の挙動を解明するとともに動態モデルの精度向上を目指してほしい。